

令和元年度 モデル事業 取組 ITによる生産性向上WG

事業のポイント

- ・市内の中小製造業者の現場における作業工程の標準化や従業員1人当たりの生産性向上といった様々な課題を解決するため、市内IT企業が「作業改善ITツール」を開発。
- ・開発した作業改善ITツールを地元の食品製造業者に試験的に導入し、製造技術の伝承、製造工程改善による生産性向上に向けた取組を行う。

基本情報

- ・WG名 : ITによる生産性向上WG
- ・活動テーマ : ①生産性向上に向けたIT化等の促進
②経営者の意識・行動改革と多様化する働き方への対応
③事業継承の支援
- ・モデル事業名 : 生産現場における動画による作業改善ITツールを活用した生産性向上事業
- ・事業概要 : 生産現場において現状の課題・改善点を分析・把握し、改善対象となる作業動画を撮影。撮影動画から洗い出した改善項目を評価シートにまとめ、撮影動画と評価シートを反映させた作業改善ITツールを用いて現場作業の改善、生産性向上に向けた検討を行う。

課題

- ・中小製造業の生産現場における従業員1人あたりの生産性向上を図りたい。
- ・ムリ、ムダ、ムラを削減し製造工程を標準化したい。
- ・ベテランのノウハウ、技術、技能を伝承し、若手の人材育成など現場力の向上につなげたい。

そこで、

地元の和菓子製造業者と豆富製造業者の課題解決のため協働開発した作業改善ITツールを試験的に導入し、それぞれが抽出した課題や改善点を従業員同士で共有しながら解決に向けた取組を検討していく。

初年の取組内容

- ・和菓子製造業者は和菓子の製造工程を、豆富製造業者は作業導線の撮影を行い、作業改善ITツールを活用して現場の作業改善に向けた取組を行った。
- ・上記の2事業者において現場改善に関する研修会を開催し、従業員同士で課題の分析・共有を行った。
- ・作業改善ツールを使用したことによって気づかされた改善点などを共有する事例発表会を、専門家を招いて開催した。

取組成果

- ・作業改善ITツールを用いて作業導線を客観的に「見える化」することで、短時間での動作分析、課題の発見・共有ができた。
- ・社内の複数メンバーで撮影した動画を見ることで、課題点の分析・共有ができ、社員それぞれの意見や意識の統一化が図れた。
- ・製造現場と販売現場という異なる立場の従業員が同じ目線で意見交換を行うことで、共通の課題に対するそれぞれの意見を集約できた。
- ・開発した作業改善ITツールを活用した生産現場の改善プロセスを専門家を交えて事例発表し、活用に向けた指導を受けたことで、将来、市内の他業種へ展開していくための道筋ができた。

活動の様子



作業動画撮影



ワーキング会議



事例発表会



作業改善 IT ツール

ワーキンググループ構成員の声

- ・今回開発した「作業改善 IT ツール」を活用したことで、今まで出来ていなかった異なる業務のスタッフ同士の意思疎通が図られました。共通課題を認識できたことで、今後の生産性向上や業務効率化に期待しています。
- ・今回の取組を通して、「現場には様々な課題や改善点があるのだと改めて認識させられました。今後はそれらをどのように解決していくかを社員としっかり議論していきたいと思います。
- ・「作業改善 IT ツール」は、どのような業種でも活用できるようにシンプルで扱いやすいシステムを意識して開発しました。このシステムを活用することで、自社の課題や改善点が解決でき生産性向上につながる企業が増えていくことを願っております。